

自由論題1

報告テーマ

中国政府における政策実施と情報システムについて
垂直方向の情報伝達・フィードバックを中心に
Policy implementation and information system in the Chinese government
Focusing on vertical information transmission and feedback

氏名(所属)

王淇(杏林大学)
WANG QI (Kyorin University)

要旨(800字程度)

本稿では、電子政府に関する研究の領域で、G2G(政府对政府)の部分に着目し、中国の政府内部で中央一地方を貫徹する体系的な政策実施システムにおいて垂直方向の情報伝達・フィードバックのメカニズムを解明するため、主に通信システム分野のアナログ処理とデジタル処理モデルを結んで、中国における政策情報の伝達及び実施の過程でいくつかの問題点について検討した。

まず、「大躍進」時代から改革開放後中国における政策伝達・実施の過程で、「政令不出中南海」(行政命令は地方に届かない)や「層層加碼」(ノルマの上乗せ)という様々な問題を出発点とし、上意下達における政策の伝達・実施の現状について検討した。

①五層行政体制において長い「情報伝受のチェーン」で、情報伝達のメカニズムはさらに複雑化させ、長い命令とコントロールのチェーンを構成し、「ノイズ」の影響を受けて情報の歪みを招き、そして政策の実施に影響を及ぼしている。

②政策は行政文書の形でそのまま最下位の行政機関に伝達され、文山会海という取り組みが政策実施の主な行動として基層の行政機関・幹部に大きな負担をかけ、政策の徹底を妨害する。

③政策実施の過程で圧力体制と政府間トーナメント型競争により各地方政府が受動的・自発的ノルマの上乗せに直面し、そして選択的に政策を遂行している。数値化された業績目標は伝達の中で「信号」としてますます拡大され、数値化されにくい部分も遮蔽されている。

次に、中国における情報の収集と報告が長期的に「上へ順次に伝達する」という現状を踏まえ、地方政府は上位政府に対する情報の優位性及びフィードバックの問題を検討した。

①「属地化」管理による上位政府は地方との連絡はより弱く、政策実施の効果に対する把握できる情報源も限られている。各地方政府は数値化されやすい、短期の利益に応じる政策あるいは「政績工程」(政業績プロジェクト)や「形象工程」(イメージ作りのプロジェクト)を選択し、虚偽・水増し報告を業績として上に提出する可能性が高い。

②近年中国における貧困削減政策の実施において、基層の幹部から上へ順次にフィードバックの過程で、最初のコーディングで一部の情報は既に失われ、伝達された「デジタル」が実情に応じてない。より厳しい、より数値的業績を強調する考課制度で水増しや虚偽の数字が得られやすく、業績は「信号」としてますます拡大する傾向があり、結

果として「数字脱貧」・「虚偽脱貧」を招いた。

よって、政策実施の過程で上下政府の情報上の非対称性が形成され、結局政策の失敗を招く恐れがある。中国における電子政府の構築は最新の I C T 技術に頼るだけでなく、これまでのメカニズムを再構築する必要があると考えられる。